

和歌山県田辺市の防災教育



1 田辺市の概要

(1) 市町村合併9年目（5市町村による合併）

人口約 76,000人 広さ 東西に45km 南北に46km
学校数 小学校28校（約4000人） 中学校14校（約2000人）
複式校13校（小学校11校、中学校2校）
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年を迎えた。

(2) 東日本震災当日の田辺市の様子

(3) 台風12号水害

2 田辺市の取組

(1) 教育委員会の取組（H24～H26）

- ① 小学生に対して、広川町「稲むらの火の館」を見学し、濱口梧陵について学び、さらに防災体験学習を通じて防災への意識を高める。（借り上げバス代の補助）
- ② 中学生に対して、保護者と生徒を対象とした防災講演会を開催する。（講師謝礼補助）
- ③ 沿岸部の小中学校に対して、校区内における防災マップの作成及び地域への配布。（作成費用の補助）
- ④ 市内園・学校に対して、緊急地震速報システムの設置。

(2) 田辺市防災教育担当者会の取組（H25～）

沿岸部、中山間部・山間部の災害種別に対応した組織づくり

（平成25年）

- ・津波防災シンポジウムの開催
- ・防災教育実践集録の作成
（平成26年度）
- ・防災教育の手引きづくり
（平成27年度）
- ・防災教育の手引きづくり（完成）
- ・研究授業の開催
（成果）
- ・手引きづくりを通して、防災教育担当教員の意識が少しずつ高まっている。
（課題）
- ・各校の教職員の防災教育に対する意識の温度差。
- ・保護者との防災意識の共有、地域との連携。